美濃病院経営強化プラン検証表

（注）1．資本的収支以外の各金額は消費税抜き額（単位：千円）　　2．患者数は健診・予防接種等を除く

項目				6年度 上期実績値	6年度 目標値	目標値に対する実績値の割合	5年度 上期実績値	5年度 目標値	備　考
収益的収支	収入	医業収益	1．入院、外来収益	① 1,209,021	2,416,662	50.03%	1,207,590	2,356,522	
			2．他会計負担金	② 0	16,418	0.00%	0	16,418	
			3．その他	③ 105,673	233,108	45.33%	93,894	222,008	
		医業外収益	1．他会計負担金	④ 0	17,599	0.00%	0	19,428	
			2．他会計補助金	⑤ 0	21,675	0.00%	0	21,461	
			3．その他	⑥ 9,177	25,000	36.71%	66,837	72,710	
		収入計	(A)	⑦ 1,323,871	2,730,462	48.49%	1,368,321	2,708,547	
	支出	医業費用	1．給与費	⑧ 614,550	1,361,047	45.15%	574,735	1,347,572	
			2．材料費	⑨ 138,283	319,942	43.22%	148,861	320,476	
			3．経費	⑩ 327,606	706,539	46.37%	297,057	713,610	
			4．減価償却費	⑪ 105,120	218,627	48.08%	104,300	209,933	
			5．資産減耗費	⑫ 0	3,000	0.00%	0	3,000	
			6．その他	⑬ 27,281	62,939	43.35%	29,837	62,162	
		医業外費用	1．支払利息	⑭ 12,134	23,568	51.49%	12,783	26,350	
			2．繰延資産償却	⑮ 3,944	7,888	50.00%	3,732	7,888	
			3．その他	⑯ 12	60,000	0.02%	15	60,000	
		支出計	(B)	⑰ 1,228,930	2,763,550	44.47%	1,171,320	2,750,991	
	経常利益		(C) =(A)−(B)	⑱ 94,941	△ 33,088		197,001	△ 42,444	
	特別損益		(D)	⑲ △ 2,909	△ 2,000		△ 2,495	△ 2,000	
	当年度純利益		(E) = (C)＋(D)	⑳ 92,032	△ 35,088		194,506	△ 44,444	
前年度未処分利益剰余金 (F)				㉑ 242,435	264,693		309,137	309,137	
前年度分利益剰余金処分額 (G)				㉒					
前年度繰越利益剰余金 (H) =(F)−(G)				㉓ 242,435	264,693		309,137	309,137	
当年度未処分利益剰余金 (I) =(E)+(H)				㉔ 334,467	229,605		503,643	264,693	
資本的収支	収入	1．企業債		㉕ 0			0		
		2．出資金（他会計）		㉖ 0	164,849	0.00%	0	163,019	
		3．国、県負担金、補助金							
		4．他会計負担金、補助金							
		5．その他							
		収入計	(J)	㉗ 0	164,849	0.00%	0	163,019	
	支出	1．建設改良費		㉘ 21,041	30,000	70.14%	3,938	125,000	
		2．企業債償還金		㉙ 131,142	262,984	49.87%	126,150	260,202	
		3．その他		㉚ 0			0		
		支出計	(K)	㉛ 152,183	292,984	51.94%	130,088	385,202	
	差し引き合計		(L) =(J)−(K)	㉜ △ 152,183	△ 128,135		△ 130,088	△ 222,183	
留保資金	前年度末残高			㉝	2,806,116			2,851,222	
	当年度増減額	当年度発生額		㉞	195,127			177,077	
			減価償却費	㉟	218,627			209,933	
			資産減耗費	㊱	3,000			3,000	
			繰延勘定償却	㊲	7,888			7,888	
			収益的収支	㊳	△ 35,088			△ 44,444	
			その他(調整を含む)	㊴	700			700	
		当年度充当額		㊵	128,135			222,183	
			資本的収支	㊶	128,135			222,183	
			その他						
	当年度末残高			㊷	2,873,108			2,806,116	
一般会計繰出金の合計額				㊸ 0	220,541		0	220,326	
年度末企業債残高				㊹	1,955,549			2,218,533	

美濃病院経営強化プランにかかる目標値と実績値

項目		6年度 上期実績値	6年度 目標値	目標値に対する実績値の割合	5年度 上期実績値	5年度 目標値
救急受入件数(件)	Ⓐ	432	902	47.89%	448	902
手術件数（件）	Ⓑ	402	630	63.81%	276	630
在宅復帰率（%）	Ⓒ	95.3	87.0	109.54%	93.9	86.0
紹介率（%）	Ⓓ	40.9	35.0	116.86%	36.5	35.0
地域医療研修の受入人数(人)	Ⓔ	7	9	77.78%	3	8
経常収支比率(%)	Ⓕ	107.7	98.9	108.92%	116.8	98.5
修正医療収支比率(%)	Ⓖ	108.4	97.9	110.72%	112.7	97.1
1日あたり入院患者数（人）	Ⓗ	108.5	107.5	100.93%	105.7	107.3
1日あたり外来患者数（人）	Ⓘ	272.4	265.0	102.79%	248.5	260.0
入院単価（円）	Ⓙ	41,305	40,850	101.11%	44,119	40,700
外来単価（円）	Ⓚ	11,512	12,125	94.94%	11,414	12,000
病床利用率(%)	Ⓛ	88.9	88.1	100.91%	86.6	88.0
DPC病棟平均在院日数(日)	Ⓜ	14.7	12.7	115.59%	12.6	12.6
材料費　対医業収益比率(%)	Ⓝ	10.5	12.2	86.07%	11.3	12.3
経費　対医業収益比率(%)	Ⓞ	24.9	27.1	91.88%	22.6	27.5
職員給与費　対医業収益比率(%)	Ⓟ	52.7	51.7	101.93%	50.2	51.9
減価償却費　対医業収益比率(%)	Ⓠ	8.0	7.9	101.27%	8.0	8.1
後発医薬品の使用割合(%)	Ⓡ	57.3	43.0	133.26%	60.9	43.0
常勤医師数(人)	Ⓢ	10	9	111.11%	8	8
看護師数(人)	Ⓣ	102	101	100.99%	102	103
企業債残高(千円)	Ⓤ	2,087,392	2,025,362	103.06%	2,348,980	2,218,533

令和６年度上期　美濃市立美濃病院経営強化プラン検証委員会議事録

開催日時：令和６年１２月１１日（水）　午前１０時００分～１１時５分
開催場所：防災中央コミュニティーセンター　２階中会議室
出席委員：長尾副市長　永田総務部長　西部民生部長　井上市長公室長　小瀬木会計管理者
曽貝保健センター所長　古田福祉子ども課長　島田高齢福祉保険課長
松波総合病院　残馬事務本部副本部長
井川病院事務局長　春田病院事務局管理課長
書記・事務局：鵜飼病院事務局管理課長補佐

１．開会　（事務局長）

２．あいさつ　（副市長）

病院は令和６年度も赤字が見込まれ、対策が必要になります。今回の検証より松波総合病院の残馬様に参画していただき、民間の視点での意見を伺います。安定経営を堅持するため、皆さんの検証・評価をお願いしたい。

３．議題　（進行　事務局長）

（１）令和６年度上半期美濃病院経営強化プランの検証・評価

春田管理課長：美濃病院経営強化プラン検証表の上半期状況を説明。

〈質疑〉

井上市長公室長：目標２１項目のうち約２/３は達成している状況で経営状況が良くない。目標値自体を見直す必要もあるのではないか？

・・・目標値についてはシビアな数値を設定した上で令和９年度より黒字となるように作成してあります。計画については、必要に応じて見直すものであり、今年の人事院勧告による給与のベースアップなど想定外の要因により目標値がかけ離れるようであれば見直しを行います。

長尾副市長：経営指標の手術件数が昨年と比べ大幅に増加しているのはなぜですか？
また、救急受入件数が昨年より減少していますが何か原因はあるのですか？

・・・整形外科の医師と眼科の医師が増員したため、手術件数が増加しました。しかし、整形外科については１０月末で整形外科の医師が退職し、市内で開業されたため今後減少すると予想されます。救急車受入については、院長の方針により原則受入を断りませんが、当直医師の専門外症例については断る場合もあります。管内の人口割合に応じた受入は行っていますので当院で対応できる症例が減少していると思われます。

長尾副市長：材料費を軽減する取り組みはしていますか？

・・・診療材料、薬剤についてはリンケージによる共同交渉の推進を図っています。その取り組みにより軽減可能だと考えています

長尾副市長：経営指標の目標値について、多くの指標が達成しているのに赤字になる要因は？
・・・主な要因は入院病床利用率が悪いためです。入院患者数と入院日数ともに減っています。

長尾副市長：入院患者数減少を補う取り組みはありますか？
・・・レスパイト入院についての受入基準を設定し、施設等へ周知することで利用促進を行っています。

長尾副市長：下期１０月、１１月の入院状況は？
・・・１０月は少ないです。１１月前半は多かったですが後半はコロナの院内クラスタが発生したため入院制限があり病床利用率が下がりました。

長尾副市長：１０月の入院患者は少なかったですが経営状況は良いのは？
・・・外来が好調であり、昨年と比較して良かったです。ただ外来は、整形外科医の開業により今後は減収が予測されます。

長尾副市長：入院患者数が回復すれば、経営状況がよくなる見込みですか？
・・・外来は回復基調ですので、入院の回復が出来ればと考えます。

永田総務部長：健診件数を増やすには？
・・・企業を訪問し、当院健診センターの利用をお願いしております。また、内視鏡検査の需要が増えており、今年度から検査枠を１日追加しましたが、まだ枠が不足しています。希望者に対応するためには機器や医師が必要になります。そのため、連携している松波総合病院より医師の出向をお願いすることになると思います。また、利用者を増加させるため、国保ドックも増えてくると良いと思います。
島田高齢福祉保険課長：国保ドックの予算もありますが、節目健診を見直して毎年健診できるか検討しています。
・・・受診希望者は毎年受けれるように予算確保をお願いします。

井上市長公室長：他施設では１泊２日の健診があり、美濃病院は出来ますか？
・・・宿泊施設はないため、１泊２日の健診は難しいです。

残馬（松波総合病院）：材料比率（10.5%）が少ないようですが、松波総合病院では 13～14%ですので材料比率の指標は同規模病院と比較して確認すると良いと思います。入院平均在院日数は、ＤＰＣ病棟は短くし、入院期間Ⅱで退院調整を行い、入院前に外来検査をするのが良いと思います。また職員給与費率（52.7%）が低いですが、委託などの経費が含まれていないことと思います。収入確保の面からも医事業務は非常に重要で、美濃病院は委託されているとのことですが、委託の職員では収益確保の意識統一が難しく、職員の個々の能力に左右されることが多いため、常勤の職員を採用された方が良いのではと思います。また、別紙の資料ですが「一般会計繰入金対医業収益比率」（繰入金依存率）は他の市立病院に比べてかなり低く、黒字化のためにも操出基準にあるものについては要求された方が良いのではと思います。

４．検証及び評価のまとめ

（ア）外来は良好であるが入院は伸び悩んでいる。レスパイト入院の受け入れ等による入院患者の増加を図られたい。

（イ）令和６年度下期は更に厳しい経営状況が見込まれるため、引き続き一層の経営改善を図られたい。

（ウ）人件費、経費などの増加が見込まれるために削減を努められたい。

（エ）民生部との連携、健診体制の充実等により健診受診者の更なる拡大に努められたい。